

2007年9月18日

TOYOTA、ランドクルーザーをフルモデルチェンジ

TOYOTAは、ランドクルーザーをフルモデルチェンジし、全国のトヨタ店(大阪地区は大阪トヨペット)を通じて、9月18日より発売した。

新型ランドクルーザーは、「The King of 4WD」をテーマに、プラットフォームやサスペンションの一新、V8・4.7ℓ VVT-i*¹エンジンの搭載、走行性能を高める新技術の導入などにより、伝統の耐久性・信頼性・悪路走破性など、高い基本性能を一層進化させている。

さらに、VSC*²、SRS*³サイド&カーテンシールドエアバッグ、アクティブヘッドレストを標準装備したほか、先進のプリクラッシュセーフティシステムを設定するなど、クラス*⁴トップレベルの安全性能を追求した、**本格派4WD車の頂点に立つTOYOTAブランドの最上級SUV*⁵**である。

【主な特長】

1. 進化した高い基本性能

- ・すべての性能の基本となるプラットフォームは、伝統のフルフレーム構造を継承しながら一新。高い強度と耐久性を確保し、衝突安全性能と室内の快適性の向上に寄与
- ・サスペンションは、フロントを新開発のコイルスプリング式に一新、リヤは定評の4リンク式を継承しつつ最適化を図り、オンロード・オフロードとも優れた操縦性・走行安定性と乗り心地を実現
- ・エンジンは、V8・4.7ℓ 2UZ-FEガソリンエンジンをベースに、新たに吸気VVT-iを採用するなど進化させ、出力の大幅な向上(+39kW [53PS])により、ゆとりの動力性能を実現

2. 走行性能を高める新技術

- ・岩石路、砂地路、急坂路など微妙な速度調節が必要となる路面状況で、エンジンとブレーキを自動制御して極低速を維持し、優れた車両安定性を実現する**世界初*⁶のクロールコントロール**を標準装備
- ・走行状況に応じて、前後スタビライザーの作動を最適に制御する**日本初*⁶のキネティックダイナミックサスペンションシステム(KDSS*⁷)**を設定
- ・走行状況に応じて、前後の駆動力配分を瞬時に選択し、スムーズな発進・加速・旋回性能と安定感のある走りを実現する**新開発のトルセン® LSD*⁸付トランスファー**を標準装備

3. クラストップレベルの安全性能と優れた環境性能

- ・VSC、SRSサイド&カーテンシールドエアバッグ、アクティブヘッドレストを標準装備したほか、先進のプリクラッシュセーフティシステムを設定するなど、クラストップレベルの安全性能を追求
- ・出力を大幅に向上させながらCO₂の削減を念頭に燃費向上を図り、6.6km/ℓ(10・15モード走行、国土交通省審査値)を実現し、「平成22年度燃費基準*⁹」を達成。さらに、NO_x(窒素酸化物)・NMHC(非メタン炭化水素)を低減し、「平成17年基準排出ガス50%低減レベル*¹⁰」の認定を取得
- ・独自の環境評価システム「Eco-VAS*¹¹」を活用し、環境負荷を低減

4. 快適性・安心感を高める各種装備

- ・過酷な気象条件下での走行を想定し、強力な冷暖房性能を備えた前後左右独立温度コントロールフルオートエアコンを標準装備し、室内環境の快適性を確保
- ・エンジンイモビライザーシステム、侵入センサー・傾斜センサーを採用したオートアラームなど、機能を高めた盗難防止システムを標準装備



ランドクルーザーAX“Gセレクション”
 <オプション装着車>

- *1 VVT-i : Variable Valve Timing-intelligent (連続可変バルブタイミング機構)
- *2 VSC : Vehicle Stability Control
- *3 SRS : Supplemental Restraint System (乗員保護補助装置)
- *4 4WD・SUVタイプ同排気量クラスでの比較
- *5 SUV : Sport Utility Vehicle
- *6 2007年8月現在。トヨタ自動車調べ
- *7 KDSS : Kinetic Dynamic Suspension System
- *8 株式会社JTEKTの登録商標
- *9 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準
- *10 国土交通省の低排出ガス車認定制度
- *11 Eco-VAS (エコバス) : Eco-Vehicle Assessment System (トヨタ自動車独自の総合的環境評価システム)

【販売概要】

1. 販売店：全国のトヨタ店（大阪地区は大阪トヨペット）
2. 月販目標台数：700台
3. 特別披露会：9月22日(土)、23日(日)、24日(月)

【生産工場】

トヨタ自動車(株) 田原工場
 トヨタ車体(株) 吉原工場

【メーカー希望小売価格】

(北海道、沖縄のみ価格が異なる。単位：円)

グレード	エンジン	トランスミッション	駆動	価格* (消費税込み)
AX	2UZ-FE (4.7ℓ)	5 Super ECT	4WD	4,700,000
“Gセレクション”				5,400,000

◎：掲載写真（除くオプション）

5 Super ECT：スーパーインテリジェント5速オートマチック

*価格にはリサイクル料金は含まれない

【車両概要】

1. 進化した高い基本性能

- ▽すべての性能の基本となるプラットフォームは、フルフレーム構造を継承しながら一新
 - ・ねじりや曲げに対する剛性を高め(ねじり剛性:約1.4倍、曲げ剛性:約1.2倍)、強度と耐久性を確保
 - ・衝突安全性能の向上とともに、オンロードでの騒音・振動を低減し、車室内の快適性向上に寄与
- ▽オンロード・オフロードとも優れた操縦性・走行安定性と乗り心地を実現したサスペンション
 - ・フロントをトーションバー方式から新開発のコイルスプリング式のハイマウント・ダブルウィッシュボーンサスペンションに一新
 - ・リヤは定評の4リンク式を継承しつつ、コントロールアーム配置やチューニングを最適化
- ▽V8・4.7ℓ 2UZ-FEガソリンエンジン
 - ・新たに吸気側にVVT-iを採用し、圧縮比(9.6→10.0)や最高回転数(4,800→5,400rpm)を高めるなどして進化させ、出力の大幅な向上(+39kW [53PS])により、ゆとりの動力性能を実現
- ▽5 Super ECTには、マニュアル感覚のシフト操作が楽しめるシーケンシャルシフトマチックを新採用
- ▽ブレーキは、フロント・リヤともに耐フェード性に優れたベンチレーテッドディスクとし、サイズを拡大(16→17インチ)して、エンジンの大幅な出力向上に対応

2. 走行性能を高める新技術・新装備

- ▽**世界初のクロールコントロール** [標準装備]
 - ・岩石路、砂地路、急坂路など微妙な速度調節が必要となる路面状況で、エンジンとブレーキを自動制御して極低速を維持し、ホイールスピンやロックを最小限に抑え、優れた車両安定性を実現
 - ・維持する車速は、約1~5km/hとし、ダイヤルスイッチの操作で3段階の選択が可能
 - ・ドライバーは、操舵に集中することができ、スタックからの脱出にも効果を発揮
- ▽**日本初のキネティックダイナミック サスペンションシステム** [AX "Gセレクション" に標準装備]
 - ・走行状況に応じて、油圧システムにより、前後スタビライザーの作動を最適に制御することで、オンロードでは高いロール剛性の確保による優れた車両安定性を実現し、オフロードでは大きなサスペンションストロークの確保による卓越した悪路走破性を実現
- ▽**新開発のトルセン® LSD** (トルク感応型駆動力配分機構) **付トランスファー** [標準装備]
 - ・フルタイム4WDシステムのセンターディファレンシャルに採用
 - ・トルセン®LSDは、通常走行時は前後の駆動力配分を後輪寄りの40:60とし、走行状況に応じて50:50または30:70の駆動力配分を瞬時に変化することにより、あらゆる路面状況においてスムーズな発進・加速・旋回性能と安定感のある走りを実現
- ▽**新採用のマルチテレインABS** [標準装備]
 - ・ABS制御の最適化により、ダート路、砂利路、砂地路などにおいても優れた制動性能を発揮
- ▽**新採用のヒルスタートアシストコントロール** [標準装備]
 - ・急な登り坂や滑りやすい登り坂での発進時に、ブレーキからアクセルへ踏み替える際、ブレーキ油圧を制御して車両のずり下がりや減速を緩和

3. クラストップレベルの安全性能

- ▽コンパティビリティの概念を取り入れて、より厳しい条件に対応し、さらに進化した衝突安全ボディGOA*1を採用。衝突時の衝撃を骨格部材に効果的に荷重分散し吸収するボディ構造により、生存空間やダミーの傷害値においてトヨタ自動車独自の目標をクリア
- ▽頭部傷害軽減においてクラストップレベルの保護性能を追求し、歩行者傷害軽減に配慮したボディ構造
- ▽VSCをはじめ、デュアルステージSRSエアバッグ(運転席・助手席)、SRSニーエアバッグ(運転席・助手席)、SRSサイドエアバッグ(運転席・助手席・セカンドシート左右席)、およびSRSカーテンシールドエアバッグ(フロントシート・セカンドシート・サードシート)を標準装備
- ▽後方から追突された際に、ヘッドレストが適切な位置へ移動することにより、頸部へのダメージを抑え、むち打ち傷害軽減に寄与するアクティブヘッドレスト(運転席・助手席)を標準装備
- ▽先進のプリクラッシュセーフティシステムには、緊急ブレーキ連動方式 [AX "Gセレクション" に標準装備] とミリ波レーダー方式 [AX "Gセレクション" にオプション設定] を設定

4. 優れた環境性能

▽出力を大幅に向上させながらCO₂の削減を念頭に燃費向上を図り、6.6km/ℓ（10・15モード走行、国土交通省審査値。10・15モード燃費の1km走行当たりのCO₂排出量換算値：352g/km）を実現し、「平成22年度燃費基準」を達成。さらに、NO_x・NMHCを低減し、「平成17年基準排出ガス50%低減レベル」の認定を国土交通省より取得

▽独自の環境評価システム「Eco-VAS」を活用し、環境負荷を低減

▽内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、揮発性有機化合物（VOC*2）の発生量を抑制し、車室内の臭いや刺激臭を軽減するなど、業界自主目標を達成

5. 快適性・安心感を高める各種装備

▽前後左右独立温度コントロールフルオートエアコン [標準装備]

- ・過酷な気象条件下での走行を想定し、冷暖房性能を強化
- ・顔まわりの花粉を素早く減少させることができる花粉除去モードを採用

▽大容量（30GB）HDDナビゲーションシステム [オプション設定]

- ・先進のテレマティクスサービス「G-BOOK ALPHA Pro」、Blue tooth対応ハンズフリー通話にも対応するなど、多彩なマルチメディア機能を搭載
- ・高精細8型ワイドディスプレイを採用するとともに、オーディオ&ビジュアルは、インダッシュ6連奏DVD/CDチェンジャー+MDプレイヤー一体AM/FMラジオ、9スピーカーを設定
- ・ナビゲーション情報を活用しシフト制御を行うNAVI・AI*3-SHIFTを採用

▽スマートエントリー&スタートシステム [標準装備]

- ・スマートキーを取り出すことなく、ドアの施錠・解錠と、ワンプッシュでのエンジンスタートが可能

▽室内スペースの拡大・快適性と機能性を追求したシート

- ・フロントピラーを前出したパッケージングにより、室内長を従来型比で175mm拡大
- ・無段階温度調整式のヒーターを新たに採用したフロントシート [AX“Gセレクション”に標準装備]
- ・前後105mmのシートスライド機構とシートバック4：2：4分割式を新たに採用したリクライニング機構付6：4分割可倒式セカンドシート。本革仕様のセカンドシート左右席には、シートヒーターを新設定 [AX“Gセレクション”に標準装備]
- ・簡単な操作で跳ね上げから格納・固定までを行えるスペースアップシートとした、シートバック5：5分割式サードシート

▽機能を高めた盗難防止システム [標準装備]

- ・エンジンイモビライザーシステムおよび、オートアラームに侵入センサー、傾斜センサーを新採用

6. ランドクルーザーの「信頼感」を表現した内外装デザイン

▽トヨタ車のデザインフィロソフィ「VIBRANT CLARITY（生き生き・明快）」に基づき、ランドクルーザーのアイデンティティを活用しながら、外観は、「信頼感」と「先進性」の融合を目指した意匠とし、室内は本格4WDとしての機能性を進化させるとともに、高い質感と精度により「信頼感」を表現

- ・フロントビューは、伝統の中で培ってきたイメージを近代的に表現しつつ、縦方向の厚みを増すことなどにより、最上級SUVとしての力強い構えと風格を表現
- ・サイドビューは、軸の通った立体感を強調しながら前後のフェンダーをボディに融合させる新しい造形により、タイヤの存在感を強調したダイナミックさと先進性を表現
- ・リヤビューは、ボディから張り出した左右独立のリヤコンビネーションランプや、ボディと一体化したバンパーにより、ワイド感と安定感を表現
- ・インストルメントパネルは、コックピットの圧倒的な広がり感と同時に、ドライバーが車両姿勢の変化を把握しやすいデザインを追求し、水平方向に軸をしっかりと通す造形を採用
- ・センタークラスターは、両側に金属を削り出したような質感のホールドバーにより、力強さを表現
- ・ステアリングホイールは、大型のパッドを特徴とした安定感のある意匠とし、操作性を考慮した大きなスイッチと金属調ベゼルにより、機能性と質感を融合

▽ボディカラーは、ダイナミックな輝きのゴールドマイカメタリック、潤沢な輝きを表現するグリーンマイカメタリックの2種類の新色を加えた全7色を設定

*1 GOA：Global Outstanding Assessment（クラス世界トップレベルを追求している安全性評価）

*2 VOC：Volatile Organic Compounds

*3 AI：Artificial Intelligence（人工知能）